

本講座は全10回のリレー講義で、1講座ごとに完結する内容です。下記のいずれかの申込み方法をお選びください。

講座ごと受講の場合

- 1) 受講料 (1講座) 1,500円
- 2) 受講申込方法  
受講当日に開講場所受付で手続きのうえ、受講料を現金でお支払いください。
- 3) 実地講座  
1講座ごとの受講の場合、実地講座の申込みはできません。受講を希望される方は、全10講座を申込みしてください。

全10講座受講の場合

- 1) 受講料 10,000円
- 2) 出願方法・出願書類  
受講申込受付期間中に下記 ①出願票、②顔写真の書類を郵送・持参・Webのいずれかの方法で出願してください。

- ① 2013年度 京カレッジ出願票  
必要事項をご記入ください。詳細は、「2013年度京カレッジ募集ガイド」を参照してください。  
※1 科目番号欄には、「M002」と記入し、履修形態は「特別受講生」に○を付けてください。  
※2 お手元に「京カレッジ出願票」をお持ちでない方は、「2013年度京カレッジ募集ガイド」を請求してください。
- ② 京カレッジ会員証用写真1枚  
(縦3cm×横3cm、無帽・裏面氏名記入)

- 3) 出願受付期間・受付場所
  - 郵送の場合 3月9日(土)～3月23日(土) 必着
  - 持参の場合 3月16日(土)～3月23日(土) 9時～17時  
3月18日(月)は休館日
  - Webの場合 3月16日(土)～3月23日(土)  
※大学コンソーシアム京都ホームページから必要事項を入力の上、申込みをしてください。
  - 送付先・受付場所  
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都 (公財)大学コンソーシアム京都 教育事業部(京カレッジ担当)宛

- 4) 受講可否通知・受講手続き  
出願後、選考を行い4月中に受講可否通知を郵送いたします。受講が許可された方には、受講料の支払方法等についてご連絡いたします。  
受講料を納入された方には、「京カレッジ会員証」を郵送いたしますので、毎回講座を受講する際に必ずご持参ください。  
※納入された受講料は、返金いたしませんのでご了承ください。
- 5) 実地講座  
申込方法等につきましては、「受講可否通知」にてお知らせします。(受講申込者多数の場合は、抽選とします。)  
・7月7日(定員40名)……参加費：別途1,000円税込  
・11月17日(定員30名)……参加費：別途1,000円税込

大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学の正規学生(大学院生・専攻科生除く)、放送大学京都学習センター全科履修生の場合

- 1) 受講料 「1講座ごと受講」・「全10講座受講」のいずれの場合も受講料は無料です。
- 2) 1講座ごと受講の場合  
受講当日、開講場所受付で学生証を提示し受付を行ってください。
- 3) 全10講座受講の場合  
2013年度京カレッジ出願票、京カレッジ会員証用写真と学生証のコピーを添付のうえ、受講申込受付期間内に手続きをしてください。

実地講座に参加を希望される方は、全10回の受講を申し込んでください。ただし参加費は、別途必要です。  
※通信教育課程の学生、科目等履修生、聴講生は受講料が必要です。

個人情報の取扱いについて

個人情報は事務局が責任を持って管理し、受講に関する書類送付や講座運営、ならびに公益財団法人 大学コンソーシアム京都が主催する催事等のご案内以外には使用いたしません。

受講に係る注意事項

交通機関の不通および暴風警報の発令により、講座が休講等となる場合がございます。あらかじめご了承ください。詳細は2013年度「京カレッジ生募集ガイド」をご参照ください。

京カレッジ会員特典

京カレッジ科目の受講を許可された皆様は、「京カレッジ会員証」を用いて大学コンソーシアム京都の加盟大学・短期大学の一部の図書館が利用できます(詳細は2013年度京カレッジ生募集ガイドをご参照ください。)

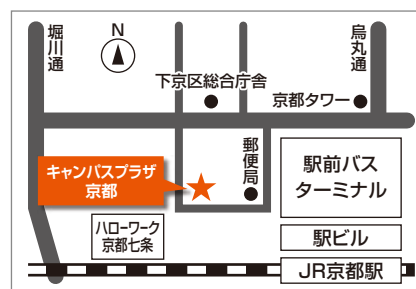
お申込・お問合わせ先

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 京カレッジ事業係

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都 (火曜日～日曜日 9:00～17:00/月曜日休館)

☎075-353-9140

<HPアドレス> <http://www.consortium.or.jp/>



2013年度 京カレッジ京都力養成コース「京都学講座」

すがた  
みやこの表象  
デザインされた都市

開講日時 2013年5月25日(土)～11月2日(土)  
10時50分～12時20分  
[実地講座: 7月13日(土) 14時～15時30分  
11月2日(土) 14時～15時30分]

開講場所 キャンパスプラザ京都4階 第2講義室  
[実地講座: 7月13日(土) 株式会社 松竹撮影所、  
11月2日(土) 祇園新橋にて開催]

京都学講座テーマ(定員250名)

- |   |  |
|---|--|
| 第1回 5月25日(土)<br>描く ～古地図に表れた江戸の京～<br>上杉 和央氏 京都府立大学 文学部 准教授                 | 第6回 9月7日(土)<br>舞う ～狂言という名のお芝居～<br>茂山 正邦氏 大蔵流狂言師                    |
| 第2回 6月1日(土)<br>奏でる ～「京都」のうた・歌の世界における「京都」～<br>太田 道宏氏 橋 茂氏 南村 知佐恵氏          | 第7回 9月21日(土)<br>戯ぶ ～蹴鞠を楽しむ～<br>上田 恒弘氏 蹴鞠保存会 理事長                    |
| 第3回 6月8日(土)<br>彩る ～「貝合せ」のおもしろさ～<br>並木 誠士氏 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科 教授          | 第8回 10月5日(土)<br>創る ～川端康成「古都」と(トボス)としての京都～<br>有田 和臣氏 佛光大学 文学部 教授    |
| 第4回 6月22日(土)<br>写す ～古写真で読み解く京都～<br>村上 忠喜氏 京都市文化市民局文化芸術都市推進室 文化財保護課 普及調査係長 | 第9回 10月12日(土)<br>画く ～洛中洛外図から読み解く戦国時代の京都～<br>鋤柄 俊夫氏 同志社大学 文化情報学部 教授 |
| 第5回 7月13日(土)<br>映す ～映画都市の形成とその技術～<br>富田 美香氏 立命館大学 映像学部 准教授                | 第10回 11月2日(土)<br>造る ～町並み景観の形成と展開～<br>山崎 正史氏 立命館大学 理工学部 特任教授        |
| 実地講座 7月13日(土)<br>撮影所とは何か ～株式会社松竹撮影所～<br>富田 美香氏 立命館大学 映像学部 准教授             | 実地講座 11月2日(土)<br>京町家の洗練 ～祇園の町並みを訪ねる～<br>山崎 正史氏 立命館大学 理工学部 特任教授     |

## 2013年度 京カレッジ京都力養成コース「京都学講座」

# みやこの表象

デザインされた都市

京都を舞台にした小説といえば川端康成の『古都』、京都を画く絵画といえば「洛中洛外図」を思い出す方は多いと思います。しかし、京都を表象する(描く/画く)のは、文学や絵画だけではありません。古地図や音楽、工芸、古写真、映画、舞踊、遊戯、建築などなど、実にさまざまです。2013年度の「京都学講座」は、思い切って、多様なメディアを取り揃え、それぞれが、京都の何時/何

処を、どのような場所として表象しているかを概観してみることにします。

### 第1回 5月25日(土)

## 描く ~古地図に表れた江戸の京~

上杉 和央氏  
京都府立大学  
文学部 准教授



#### 講座概要

地図のなかで京都はどのように表現されてきたのだろうか。洗練されたデザインを持つ都市である京都を表そうとするならば、それ相応の洗練された表現技術が求められることになる。日本の古地図のなかでも「京都図」は屈指の多様さと奥行きを備えているが、その歴史的展開を一言で表すならば、洗練した都市をいかに表現するかを追求した歴史であったということになるだろうか。本講義では、このような点を意識しつつ、江戸時代の「京都図」に迫りたい。

#### 略歴

京都大学博士(文学)  
2004年 京都大学総合博物館助手  
2008年 京都府立大学講師  
2010年 同 准教授

### 第2回 6月1日(土)

## 奏でる ~「京都」のうた・歌の世界における「京都」~

太田 道宏氏 関西フィルハーモニー管弦楽団 チェロ奏者  
橘 茂氏 近畿大学講師  
南村 知佐恵氏 日本音楽審議会認定講師

#### 講座概要

明治、大正、昭和、平成と百有余年にわたって歌い次がれてきた「歌」の世界において「京都」はどのように表現されているのでしょうか、また「京都」から啓発(inspired)された音楽にはどんなものがあるかを検証、一部実演を通してご紹介してゆきます。「京都」のイメージの広がりが如何に。

#### 略歴

【太田】1979年同志社大学文学部卒業。同志社交響楽団を経て在学中よりヴェーエル・フィルハーモニック(現・関西フィル)に参加、1980年入団。室内楽活動にも積極的に取り組み、1986年より「室内楽をもっと身近に」をテーマに自ら主宰する「哲学の道プロムナード・コンサート」が26年、123回(2012年11月現在)を数えるのをはじめ多くのコンサートに出演、その企画、構成、編曲から司会に至るまで多才ぶりを発揮している。唯一の師は上村昇氏。  
【橘】京都市立芸術大学卒。ドイツ・ミュンヘン国立音楽大学大学院修了。ドイツ・オーストリア各地で劇場歌手を務めた後、帰国。後進の指導の傍ら、コンサートやオペラで活躍。特に、オペラでは、その的確な役作りには定評がある。現在、関西二期会会員、日本シューベルト協会会員、NHK文化センター梅田教室・西宮ガーデンズ教室講師。近畿大学文化会グリークラブヴォイストレーナー、大阪市立大学混声合唱団フリーデヴォイストレーナー、だいたいリート主宰。  
【南村】梅花女子大学文学部卒業。在学中同大学合唱団にて、学生指揮者を務める。ピアノ・室内楽を豊嶋和史氏に師事。声楽を橘茂、小槻史絵の各氏に師事。指揮法を須賀敬一・藤野充の各氏に師事。現在、多数のうたごえ合唱団を中心に指揮者、伴奏者として活動中。



### 第3回 6月8日(土)

## 彩る ~「貝合せ」のおもしろさ~

並木 誠士氏  
京都工芸繊維大学  
工芸科学研究科 教授

#### 講座概要

「貝合せ」という言葉は知っていても、その遊び方や、歴史的な位置づけなどはあまり知られていない。貝合せに使われる合貝の内側に描かれた絵を合わせる遊びだと思っている方が多いと思う。じつは、この絵は添え物なのだ。しかし、この絵は、添え物であるにもかかわらず、じつは、日本絵画史上でも他に例を見ないおもしろい特徴を備えているのだ。講義では、貝合せの遊びとそこに描かれた絵のおもしろさを堪能していただきたい。

#### 略歴

1955年東京生まれ。京都大学大学院文学研究科博士後期課程美学美術史学専攻中退。徳川美術館学芸員、京都大学助手、京都造形芸術大学助教授を経て、現職。京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長兼任。



### 第6回 9月7日(土)

## 舞う ~狂言という名のお芝居~

茂山 正邦氏  
大蔵流狂言師



#### 講座概要

室町時代から脈々と受け継がれてきた狂言。その演劇性は、日常のちょっとした事件や失敗談などをおもしろおかしく作りあげた、日本最古の喜劇です。とても人間味あふれる喜劇(狂言)の魅力や、簡単な演技や実演などを交えてご紹介いたします。

#### 略歴

1972年 7月7日十三世千五郎の長男として生まれる  
1976年 『以呂波』のシテで初舞台  
1989年 『三番三』を抜く  
1993年 『釣狐』を抜く  
2004年 『花子』を抜く  
2005年 平成17年度文化庁芸術祭新人賞受賞  
2008年 第27回京都府文化賞奨励賞受賞  
2009年 『狸腹鼓』を抜く

### 第7回 9月21日(土)

## 蹴ぶ ~蹴鞠を楽しむ~

上田 恒弘氏  
蹴鞠保存会 理事長



#### 講座概要

蹴鞠(しゅうきく/けまり)が日本に伝来してから1400年以上、また、私共の蹴鞠保存会が創立されてからも100年以上が経過しました。歴史的には蹴鞠が大流行した時代もありましたが、現在では蹴鞠をご存じの方は少なく、また、実際にご覧になられた方はもっと少ないのではないかと考えられます。この機会に蹴鞠の基礎的な作法・ルール等私の体験した事、学んだ事で蹴鞠に対してご興味を持っていただくことができれば幸いです。

#### 略歴

1946年 京都市生まれ  
1964年 蹴鞠保存会入会  
2008年 蹴鞠保存会七代理事長就任

### 第8回 10月5日(土)

## 創る ~川端康成「古都」と(トボス)としての京都~

有田 和臣氏  
佛教大学  
文学部 教授



#### 講座概要

北山杉の里で暮らす貧しい労働者、苗子と、中京の老舗呉服商の一人娘、千重子は、実は生き別れた双子の姉妹だった。二人の偶然の出会いにより、物語は静かに動き出す。名作『古都』は、失われゆく京情緒を書きとどめたもの、とする作者の言葉に即して理解されてきた。しかしこの作品には、川端が追求し続けた別の大きな主題が隠されており、その主題が、作品中に登場する京都の様々な土地や風物と深い必然的な関わりをもっている。

#### 略歴

1962年生まれ。福岡県出身。早稲田大学第一文学部日本文学専修卒業。立教大学大学院博士前期課程修了、筑波大学大学院博士課程満期退学。1998年4月より佛教大学文学部専任講師。2007年4月より現職。著書『正確な読み方技術』(明治図書)、論文『生命主義哲学から生命主義文芸論への階梯——生命主義者としての西田幾多郎、その小林秀雄に与えた影響の——側面』(『京都語文 第18号』)などがある。

### 第9回 10月12日(土)

## 画く ~洛中洛外図から読み解く戦国時代の京都~

鋤柄 俊夫氏  
同志社大学  
文化情報学部 教授



#### 講座概要

「歴博甲本」と「上杉本」の洛中洛外図屏風は、戦国時代の京都の姿を描いた最も有名な絵画資料であり、制作された時期が近いこともあり、構図や内容に類似するところが多い。しかし異なっている点もみられ、とくにそれが下京に目立つ。これまで、その類似点と相違点については、主に美術史の視点で研究されてきたが、近年は京都市内の発掘調査がすすみ、都市図としての見方も慎重に検討されるようになってきた。本講義では、この二つの洛中洛外図の街区表現の違いについて下京に注目し、遺跡情報をふまえた都市図の視点により、16世紀代の京都の姿を模索してみたい。

#### 略歴

1985年同志社大学大学院修了。大阪文化財センター技師を経て、1999年に同志社大学歴史資料館学芸員。同館専任講師、助教授を経て2005年に文化情報学部助教授。2010年から同学部教授。博士(文化史学)。主な著書は『中世京都の軌跡』(雄山閣2008)、『中世都市遺跡の見方・歩き方』(昭和堂2010)

### 第4回 6月22日(土)

## 写す ~古写真で読み解く京都~

村上 忠喜氏  
京都市文化市民局  
文化芸術都市推進室  
文化財保護課 普及調査係長



#### 講座概要

写真技術が日本に伝わって1世紀半以上が経ちました。京都は壊滅的な戦災をまぬかれたこともあり、江戸時代末からの古写真が多く残る数少ない都市です。古い写真は過去の景観や生文化を知るための貴重な資料であり、現在その保存への取り組みが各所で盛んになされています。本講義では、古写真を手掛かりに、近代京都の庶民生活文化について見て行きたいと思えます。同時に、まだまだ遅れている、古写真の収集・保存し、資料化という資料学的方法についても一緒に考えたいと思えます。

#### 略歴

専門分野:日本民俗学。同志社大学文学部卒業(1984年)/佛教大学文学研究科博士後期満期退学(1991年)、JTたばこ店の博物館研究員を経て現職。著書:論文他:『日本の民俗 第10巻—都市の生活』(吉川弘文館 2009年)。「神性を帯びる山鉾—近世祇園祭山鉾の変化—」(『年中行事論叢』岩田書院2010年)他

### 第5回 7月13日(土)

## 映す ~映画都市の形成とその技術~

富田 美香氏  
立命館大学  
映像学部 准教授



#### 講座概要

京都は、映画の原点であるシネマトグラフを日本で初めて映写し、1930年代には日本のハリウッドと称された撮影所街を形成した町です。講義では、その撮影所街の形成と大映、東映、松竹など各撮影所の特徴を概観し、光の美学を基調とした映画表現の技術について、具体的な作品をとりあげながら解説します。

#### 略歴

日本大学芸術学部映画学科を卒業後、早稲田大学大学院文学研究科芸術学(演劇)博士前期課程修了。東京国立近代美術館フィルムセンター客員研究員などを経て、2000年立命館大学文学部兼任。2007年から現職。

### 実地講座 7月13日(土)

## 撮影所とは何か

~株式会社松竹撮影所~

富田 美香氏 立命館大学 映像学部 准教授

#### 講座概要

映画都市の核となった撮影所の一つ、大森にある株式会社松竹撮影所のオープンセットを見学し、京都の撮影所がもつ映画美術や撮影などの技術について、理解を深めます。

### 実地講座 11月2日(土)

## 京町家の洗練

~祇園の町並みを訪ねる~

山崎 正史氏 立命館大学 理工学部 特任教授

#### 講座概要

歌舞伎は江戸時代初期、四条付近の鴨川の河原につくられた芝居小屋で興業され人気を博した。鴨川に堤防が整備されると東岸の四条通と繩子通に移り、さながらブロードウェイのような劇場地区が出現した。その客をめぐめて祇園町が開発され、舞妓、芸者たちの芸ごとと共に洗練されたお茶屋と町並みへと発展した。町なかでは京町家の連続する景観が失われたが、祇園で町並み景観として今日に伝わっている。「祇園新橋重要伝統的建造物群保存地区」とお茶屋建築を訪ねる。